

うつ病に特化した通所型リワーク（職場復帰）支援施設「Little Plus（リトルプラス）」が5月1日、宇野にオープンする。患者が通所しながら、社会に再びなじ

むためのさまざまな自立訓練を行う。4月25日には開設記念行事を実施、施設開放や体験コーナーがある。

（下谷博志）

## うつ病通所型支援施設

## 宇野に来月1日オープン



施設主体は、同所で精神科・心療内科医院を運営する医療法人・春洋会（青井一展理事長）で、建物は現在休院中の同会のクリニックを利用する。

開設の中心的役割を果たしてきたのは同医院の臨床心理士、青井洸さん（30）。青井さんは日々のカウンセリング業務を通して、うつ病患者の居場所の必要性や

サポートの手薄さを痛感。これまで沖縄県の先進施設の視察をするなど準備を重ね、3月には精神保健福祉士の資格も取得し、施設長に就任した。

「うつ病の再発率が高いのは、専門医への通院以外、どうしても家に閉じこもってしまったため」（青井さん）と、リトルプラスでは、通院と通院の空白期間を埋め

# 職場復帰スムーズに

## 25日、施設開放

## 多彩なプログラム用意

ながら、社会参加を促すための多彩なプログラムを用意。運動療法▽アロマテラピー▽疑似職場トレーニング▽集団レクリエーションなど患者に応じた内容を作成する。

近年、注目を浴びている「集団認知行動療法」も導入。スタッフの助言の下、患者同士で話し合っ、うつによってゆがんだ物の見方を互いに認知し、悲観的な考えからの自然な脱却を目指す。川崎医療福祉大の進藤貴子医療福祉学部教授は「貴重な戦力を1人でも働き手としてカムバックさせたいというニーズに応える施設」と評価する。

「同様施設は、民間で県内初では」と言う青井さんは、オープンに向けて準備作業に追われている。25日の開設イベントは参加自由。正午から受け付け。事業内容の説明、メデイカルアロマテラピーの体験、ストレッチチェックなどがある。軽食と飲み物を用意する。問い合わせは、リトルプラス（☎4020）。

入念に開設記念行事の打ち合わせをする青井さん（左から2人目）とスタッフ